

3. 近年の主な浸水被害

浸水被害をもたらした近年の主な豪雨としては、平成 20 年 8 月末豪雨（平成 20 年 8 月 28、29 日）と平成 23 年 8 月豪雨（平成 23 年 8 月 22、23 日）の豪雨が挙げられる。

降雨状況を見ると、平成 20 年 8 月末豪雨では市の中心部を中心に時間雨量 100mm を超える猛烈な豪雨があった（図 3 降雨状況、表 1 降雨・水位及び浸水被害の状況参照）。市の中心部以外でも比較的大きな降雨があったため、市内全域で多数の家屋浸水被害が発生した（図 5 平成 20 年 8 月末豪雨浸水実績図参照）。平成 23 年 8 月豪雨でも市の中心部で比較的大きな豪雨があった（図 3、表 1 参照）。多数の家屋浸水被害が発生したが、平成 20 年 8 月末豪雨と比べると被害戸数は少なく、より短時間に極めて限られた地域に集中した降雨状況であった（図 6 平成 23 年 8 月豪雨浸水実績図参照）。

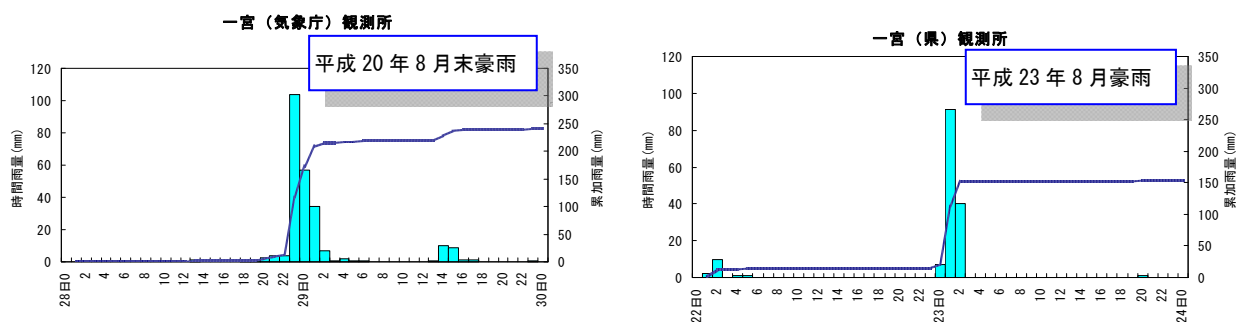


図 3 降雨状況

表 1 降雨・水位及び浸水被害の状況

項 目		平成20年8月 (H20. 8月末豪雨)	平成23年8月
豪雨要因		前線	前線
総雨量 (mm)	一宮（気象庁）	240	84
	一宮（県）	296	153
	木曽川（県）、（市）	167	74
最大時間 雨量 (mm)	一宮（気象庁）	104 (1/150)	47 (1/4) ※1
	一宮（県）	87 (1/50)	91 (1/70)
	木曽川（市）	64（市） (1/10)	44（市） (1/3)
	日光川戸荻（HWL ※2：3.52m）	3.47	3.1
住家被害 (棟)	青木川赤池（HWL：3.60m）	欠測	3.12
	床上浸水	一宮地区	285
		尾西地区	2
		木曽川地区	17
	床下浸水	一宮地区	1235
		尾西地区	15
		木曽川地区	93

※1 最大時間雨量における（ ）内は、愛知県確率降雨（名古屋地区）での降雨規模の目安で、例えば（1/4）であれば4年に1回程度発生すると予想される降雨規模のことです。

※2 計画高水位は河川整備の目標としている水位。この水位の水を安全に流すよう堤防は設計される。

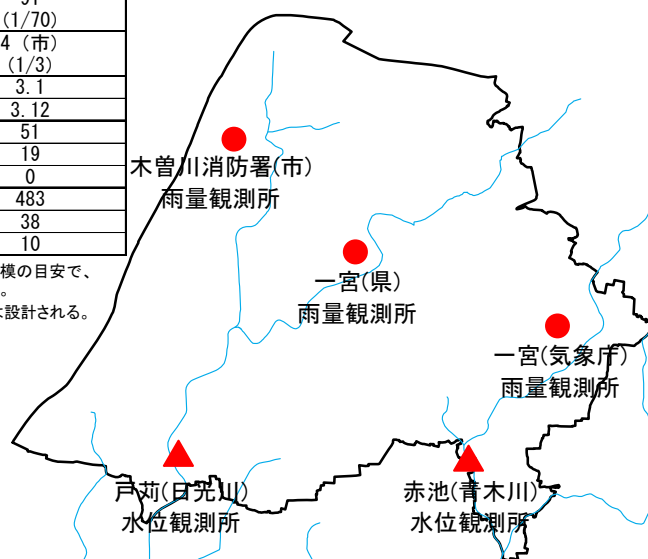


図 4 雨量、水位観測所の位置

●平成20年8月末豪雨

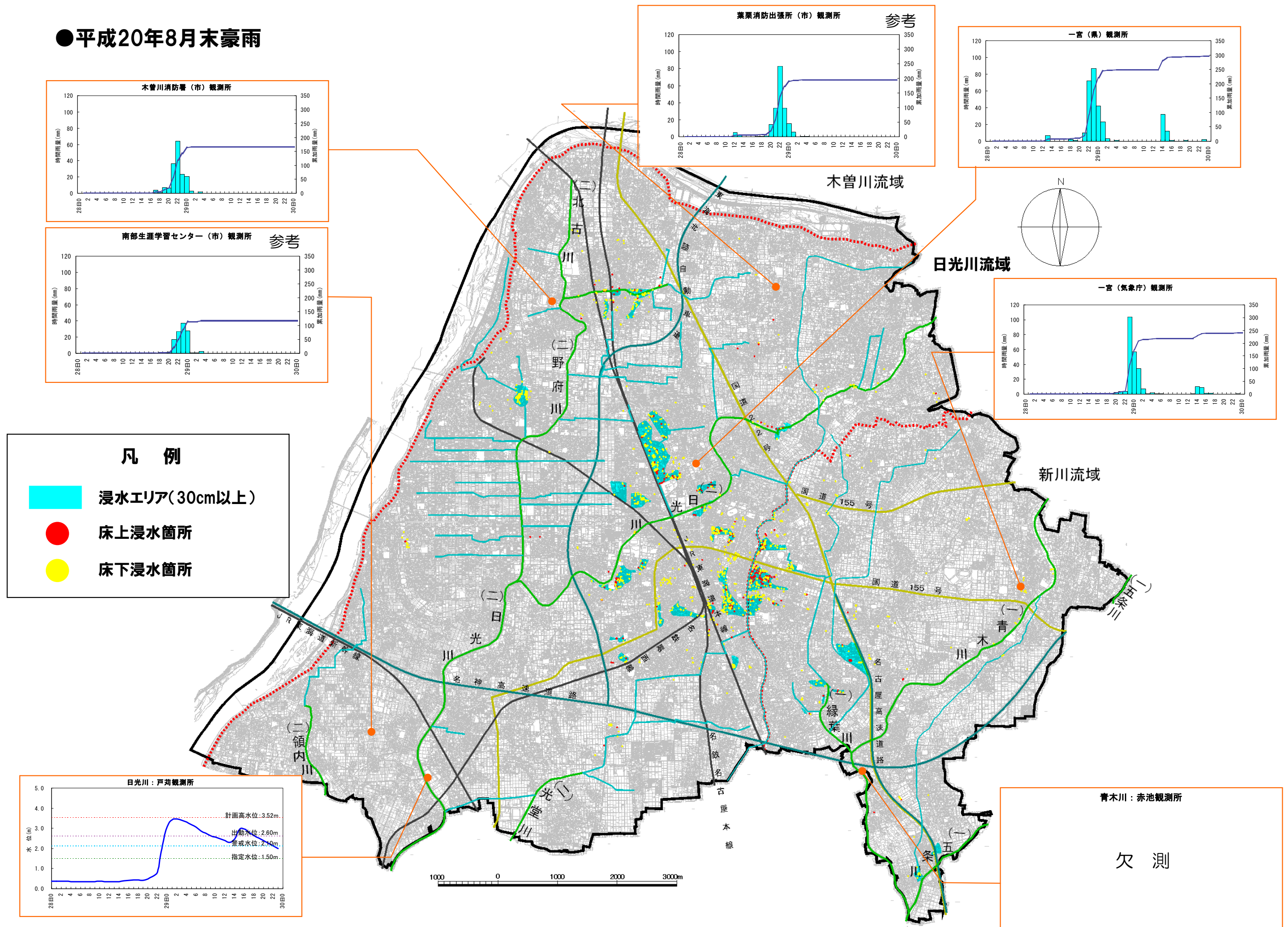


図5 平成20年8月末豪雨浸水実績図

●平成23年8月豪雨

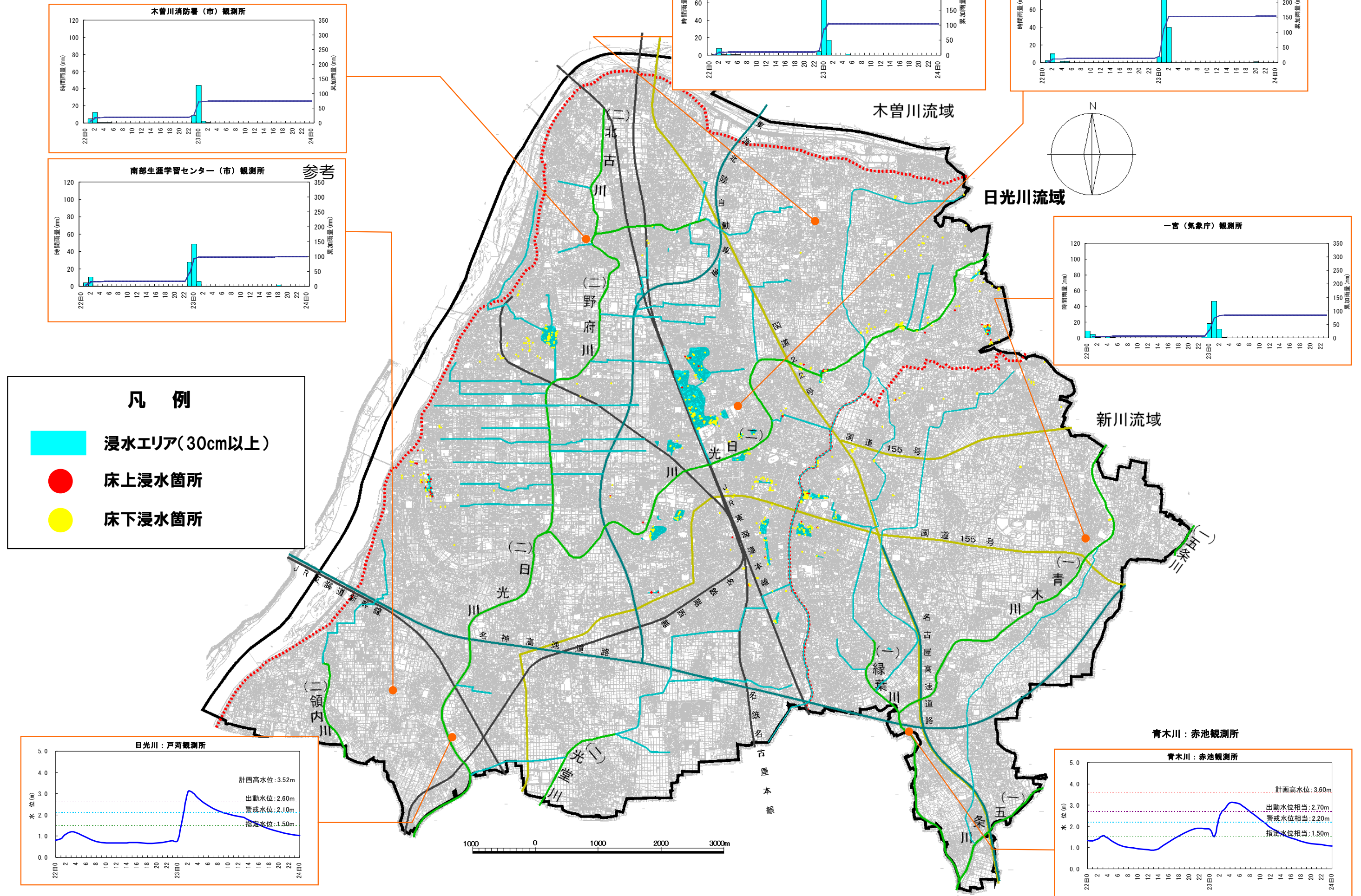


図6 平成23年8月豪雨浸水実績図